



市長の胸には SDGs のロゴバッジ



森 優輔  
もり・ゆうすけ (18)

牛淵地区出身。重信中一松山東高を卒業。高校時代はボート部所属。教育学部へ進学予定で、教諭の道を目指している。地域活性化に強い関心がある。

渡部 修平  
わたなべ・しゅうへい (18)

樋口地区出身。学生団体NEXTTOON's (ネクストゥーンズ) 代表。松山北高在学時に興居島で、西日本豪雨災害復興清掃ボランティアを開催。4月から愛媛大学社会共創学部に進学。



中川 しの  
なかがわ・しの (18)

志津川地区出身。東温高校在学時からの坊っちゃん劇場ファン。定成さん(左記)とInstagramを使って東温市を独自に発信。地域創造を学ぶため、4月から奈良の大学へ進学予定。



藤田 大聖  
ふじた・たいせい (18)

西岡地区生まれ横河原地区育ち。松山南高卒業後、国際政治を学ぶため、東京に進学予定。市民ミュージカル「城ノブ」では、中学生役を熱演した。

定成 ひびき  
さだなり・ひびき (18)

西条市出身。東温高校在学時から、熱狂的な坊っちゃん劇場ファン。鳥取の大学で地域活性化、経営を学ぶ。写真部の経験を生かして、東温市内で撮影した風景を写真共有サービス (Instagram) に投稿中。



多田 駿希  
ただ・しゅんき (18)

田窪地区出身。重信中では野球部、松山東高ではテニス部に所属していた。「市外に出ると、東温市に帰りたくなる」ほどの地元好き。機械工学を学ぶため、県外へ進学予定。

**東** 温市の未来はどうなるだろう。3月に高校を卒業し、それぞれの将来に向かって歩き始めた18歳の若者たち6人。「ずっと東温市にいる」「進学で県外に。でもいつかは戻ってきたい」。東温市へ愛着をもち、地域をもっとより良い場所にしたと話す6人が、今の若者の理想と現実を交えながら、

加藤市長と東温市の未来を語り合いました。  
**渡部** 市長、本日はよろしくお願いします。お願ひします。私たちは、若者が次の世代の東温市を担っていくために、将来を見越して活動したいと考えています。  
**市長** よろしくお願ひします。皆さんの団体名がNEXTTOON's。名称にはどういう意



加藤 章  
かとう・あきら (71)

1948年旧重信町生まれ。神戸大学卒業後、重信町役場入庁。旧2町の合併後、総務部長、副市長を歴任し、平成28年より現職。まちづくりのテーマは“温か笑顔の東温市”。現役サッカープレイヤー。



特集 クロストーク

# 市長 × 若者

加藤 章 NEXTOON's

令和初めての4月。新年度のスタートとともに新たな世界へ飛び込む若者たちと任期4年目の春を迎える加藤市長が東温市の未来を語り合いました。

味が込められていますか？  
**渡部** NEXTOON'sは「次の」、TONONは東温市。東温市の次の世代となるためにこれから活動していこうと思っています。  
**森** ボランティアだったり、イベントだったり、いろいろな場所へ行って、まずは地域を知っていくことが大事と考えています。  
そして私たちのような若い人たちに、東温市を好きになってほしい。若者が使うツールを活用して、東温市の情報発信を行っていきたいと思っています。  
**市長** 皆さんの世代はいいツールを持っています。インターネットでどんどん世界を広げていってほしいですね。ボランティア活動でいえば、例えば年2回の「重信川クリーン大作戦」というものを行っています。東温高校の皆さんや周辺の企業の方が大勢参加されていて感謝しています。  
重信川は36kmの長さがあり、周辺市町およそ60万人の方が恩恵を受けています。東温市は重信川上流に位置しており、綺麗に保って下流に引き継ぐ

責任があります。  
川を綺麗にする活動は、やがて海を綺麗にする。近年の海洋プラの問題にもつながる活動だと思っています。  
**多田** SDGsにもつながる活動ですね。市長が若い世代に期待することを聞いていいでしょうか？  
**市長** 今言ったような取り組みに、自発的に参加していただきたいですね。地域のイベントもそうです。  
いろいろな考えが地域にはあって、地域の皆さんと顔見知りになることで新しい発見がある。人と人とのつながりは大きな力になると思います。また、選挙には行ってほしい。18歳に選挙権が与えられて、すぐの選挙では、18歳の投票率が40%くらいだったのが残念。「誰に投票すればいいかわからない」という声も聞きますが、いろいろ調べた結果、本当に分からなければ白紙でも出す。  
投票に行かなければ何も変わりません。まずは「政治に参加する」ということが必要なんじゃないかと思えますね。





定成 ひびき さん

自然が綺麗というけれど、棚田や景観があるのは、実際に農業を営む人が棚田や景観を守ってくれて

若い人たちに知ってほしいのは、

物産で言えば、東温市のブランド「さくらセレクト」の選定品をセールスしています。豊かな自然で育まれた商品ばかりです。

光資源で一番は？  
市長 市の芸術文化を全国に発信するためのアートヴィレッジとおん構想。坊っちゃん劇場はもちろんシアターNEST(東温アートヴィレッジセンター内)や練習場所もPRして、市の認知度を上げていきたいと思っています。



森 優輔 さん

いるからなんです。

自然を守ることが大変な労力がかかっています。棚田がなくなると災害時には被害が拡大し、重信川も氾濫する恐れがあります。山を守るということは川を、海を守るということ。若い人たちには担い手の一つの手段として山にも目を向けてほしいですね。

藤田 平成29年に上演した市民ミュージカル「城ノブ」に参加しました。市内外の人が東温市に集まって、一つの作品を作り上げた作品に携われたことは、良い経験になっています。市長はどのように感じましたか？

市長 ミュージカルは演者、裏方、そして観劇する人がいないと成立しない作品です。私も演者として参加させていただきました。一人ひとりの力が集まって一つの作品



言われています。失敗を恐れず、何事にも挑戦してほしいですね。

森 今一番力を入れてる取り組みはなんですか？

市長 スマートインターチェンジと隣接する田窪工業団地の整備です。工業団地は好立地なので、多くの企業に手をあげていただきました。抽選までできたことに感謝したい。残念ながら…となった企業の方には「次の機会があればぜひ考えていただきたい」と話し、良い関係を保っていききたい。働き場所を作るためには情熱が必要だと考えています。

藤田 市内には雇用力、技術力のある企業が多いと思います。市長が期待することは？

市長 企業の皆さんが元気になることは、東温市を元気にすること



中川 しの さん

を作るのは、まちづくりに通じる場所があります。

中川 最後に若い世代に期待していることを教えてください。

市長 次のリーダーはあなた！この言葉に尽きます。愛媛県がまわっている技術力の高い企業データベースに、市内企業は13社登録されています。うち5社は国内シェアが1位。行政でも企業でもリーダーシップを持つて生きていく人材が出てきてくれることを期待しています。

何事にも真摯に向き合える人、これからの東温市を担ってほしいですね。



藤田 大聖 さん

だと思っています。「市民」という言葉には、普段の市民だけではなく、市内に通勤・通学する方も含まれています。災害対策でいえば、東温市にいる間に被災した場合、私たちは命を助けるために全力を尽くします。先程の自助、共助の話にもつながりますが、企業の皆さんが元気でいることで災害発生時の被害を抑えていくことができると考えています。

もちろん行政にも変化が求められています。2月にコロナウイルス感染症への対応が必要になった時は、すぐに対策本部を設置しました。消防本部や健康福祉部局の人員や備蓄品の量などを把握し、どれくらいの対応が可能かを職員と共有しました。変化にはスピード感が必要。そのために、職員の心から変えていくとしています。



渡部 修平 さん

渡部 市長、本日はありがとうございました。

市長 ありがとうございます。今後の皆さんに期待しています。一緒に頑張りましょう。